

## 個人情報が入った薬袋及びお薬の誤交付について

患者様の個人情報については、従来から厳重に管理しているところですが、令和2年1月18日病棟において、退院される患者様にお渡しするお薬の一部を、薬袋とともに別の退院される患者様にお渡ししてしまう事案が1件発生いたしました。誤ってお渡しした患者様のご家族のお申し出により誤交付が発覚いたしました。

原因は、職員1名にて複数の退院患者にお渡しするお薬の入った袋の仕分けを行った際、誤って1種類のお薬を本来交付すべき患者様とは別の患者様の薬の入った袋と一緒にまとめてしまい、再度確認せず渡したことによるものです。

なお、誤交付したお薬につきましては、誤交付先のご家族の配慮により、服用前に回収させていただいており、本来お薬を交付する患者様にお渡しし、ご説明とお詫びをいたしました。

ご迷惑とご心配をおかけすることになり、誠に申し訳ありませんでした。

再発防止に向けた今後の対策といたしまして、退院患者にお渡しするお薬の入った袋の仕分けをする際には、複数名でダブルチェックを行うとともに、仕分け後患者様にお渡しする前に再度誤りがないか確認した上で患者様にお渡しするなど、手順の見直しを行い再発防止に努める所存であります。

今後、これまで以上に適切な業務運営に努めてまいりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

令和2年 2月18日  
東京病院院長